

令和4年度 放課後等デイサービス保護者評価

アンケート 集計結果

Power to live

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
① 子どもの活動等のスペースや遊具・教材が十分確保されているか	65 %	29 %	6 %	教材は十分だと思います。外で身体が動かせるスペースがあると良いと思います。
② 職員の配置数や専門性は適切か	94 %			回答なし 1 悪くはないが、その時間面倒見るだけという印象。「何とかしたい」という志は一切感じない。
③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置、必要に応じたバリアフリー化の配慮など適切になされているか	35 %	53 %	12 %	二階に上がるときに、手すりがあるので安心ですが、幅が狭いのが少しだけ圧迫感があります。でも今後リニューアルするのが楽しみにしています。
④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	100 %			
⑤ 活動プログラムは固定化することなく柔軟に組まれているか	82 %	6 %	6 %	回答なし 1 卒業に向けてというところがあるので、プログラムは固定化していると感じる。同じ卒業に向けて他の面からのアプローチがあっても良いかとも思います。
⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0 %	59 %	35 %	回答なし 1 他の利用している子たちが児童館等の交流があるかは分からないが、本児へはそういう機会はなかったと思う。普通級や地域の学校に通っている子へ放デイでそういった機会を作ることが必要なのか？やるとしたらかなり配慮した環境を作ったからの取り組みが大切だと思います。
⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88 %	12 %		
⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	88 %	6 %	6 %	
⑨ 保護者に対して面談や、必要に応じた育児に関するサポート（育児相談・ペアトレ等）の支援が行われているか	94 %		6 %	面談もないまま、急遽「うちに合わないから」と他所をすすめられ、ますます不信感がつのる。
⑩ 親の会の活動の支援や、保護者同士の交友の場の提供などがされているか	94 %	6 %		
⑪ 保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか（連絡ファイル等）	76 %	12 %	6 %	回答なし 1 ・今いち使い方が分からない。特に説明もない。 ・必要なことは親へ連絡ありありがたい。年齢も大きく連絡ノートに書いてあることが理解できる子へはノートに書いて持たせるのは見てしまう可能性もあり難しいと思う。「親にも子どもにも伝える事」「子どもだけに伝える事」「親だけに伝え

				る事」を分けてそれぞれの場合に応じて、伝達方法の検討をお願いしたい。
⑫ 定期的にお便りやホームページ等で、活動概要や行事予定など必要な情報を発信しているか	94 %	6 %		セカンドステップに関する活動内容に関しては、作成者の自己満足しか感じられない。
⑬ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	94 %	6 %		
⑭ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか（主に契約時）	100 %			
⑮ 非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練が行われているか	82 %	18 %		利用日に訓練がたまたまないだけかもしれませんが（私が知らないだけかもしれませんが）野花ではやってもらっています。
⑯ 子どもは通所を楽しみにしているか	71 %	29 %		ただし、これは先生にではなく気が合う友達ができたため楽しみにしているにすぎない。
⑰ 事業所の支援に満足しているか	82 %	12 %	6 %	

ご協力ありがとうございました。

令和4年度 放課後等デイサービス評価アンケートのお願い

特定非営利活動法人とこっ子

日頃は、当法人の活動にご理解とご協力をいただき誠に有り難うございます。

さて、当法人は H28 年度より厚生労働省作成のガイドラインに従い、年 1 回 保護者様に評価アンケートをお願いしております。本年度もより良いサービスの提供を目指し、保護者の方々のご意見を伺う為にアンケート調査を実施させていただきたく思います。

このアンケートは、本事業所の活動や運営の状況について具体的な努力目標を設定し、計画的に点検・評価を行うことにより、活動の改善・発展をめざして行くための物です。

皆様からの声を真摯に受け止め、今後の取り組みに生かしていきたいと思っておりますのでご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

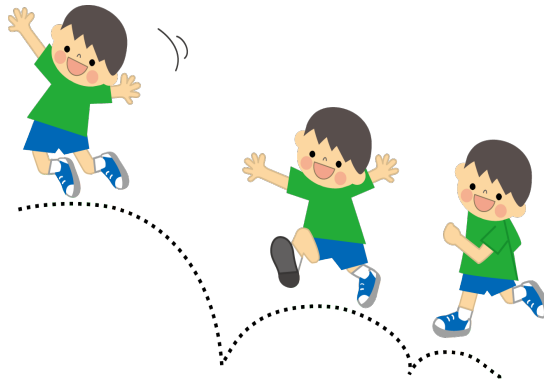
回収後は集計させていただき、後日アンケート結果を HP にて公表させていただきます。(掲載時期は後日お便りでお知らせします。)

皆様のお声に出来るだけこたえる形で説明文も載せさせていただきますので、是非ご覧になってください。又、希望される方には文書にてお渡しいたします。ご遠慮なくスタッフにお申し付けください。

アンケート用紙にご記入の上、

返信用封筒に入れ、令和4年 11 月 15 日 (火) までに お子様のファイル袋に入れご提出下さい。

注：記名の必要はありません



とこっ子は『皆様と共に歩み成長していく』事を前提に立ち上げた法人です。

お忙しい事と思いますが、今後とも『子ども達のより良い (楽しい) 人生 (生活)』の為に一緒に出来ることを探していきたいと思っておりますので どうぞよろしくお願いいたします。

解説

設問の中にいくつか、保護者の方にお伝えすることや、見ていただく機会がないものがあります。それについて、この機会に参考としてお知らせいただきたく思います。

設問 1 について

児童発達支援の設置基準に「指導訓練室床面積 33 m²以上」というものがあります。リブは1階と2階の床面積併せて(事務所を除く)43.74 m²です。訓練に必要な道具(療育で使用する教材、本、アナログゲーム等)を備えております。

設問 2 について

職員の配置数に関しては、一日5～6名(管理者を含む)を基本としており、定員10名の子どもに対して2対1以上の配置を行っております。ここに対して国が定めている配置基準は「定員10名に対して職員2名(子5対職員1)」です。

専門性に関しましては、保育士の方や中高等学校教諭、特別支援教諭、養護教諭、児童指導員と呼ばれる実務

経験360日以上の方のキャリアの方が多数職務に就いてくださっています。

設問 4 について

初回はアセスメントやモニタリングの内容を基に子どもと大人のニーズを職員で話し合い、個別支援計画を立てさせていただいています。半年後の面談の前に今期の支援計画に対しての評価・反省を行い、会議においてもうすぐ達成や未達成なものについて引き続き内容に盛り込み、達成されたものについては新たな課題を入れていきます。

設問 5 について

個別支援計画を元に個々の課題に沿った内容のプログラムを、職員が月毎に担当の曜日を変えて立案し、
そ

れを週末に起案の見直しを行い、最終的にOKとなったものをその日一日の活動のプログラムとして採用させていただいております。毎日のプログラムに固定で入っているものとしては、個々に合わせたコグニッション・トレーニング(認知機能を伸ばすためのトレーニング)やSSTワーク(社会性を伸ばすためのワーク)です。子どもによっては、ビジョントレーニングなども入れていきます。

「セカンド・ステップ」は、必要な子を職員が見極めて、基礎となるところから、その先の深いところまで、実際に起こりうるシチュエーションを考えて何度も繰り返しロールプレイングをしてもらい、しっかりと身につけて実践に役立つように進めています。「セカンド・ステップ」の対象とならなかった子どもたちも何度も見直しを図り、成長の様子によっては次回の対象になったり、他のレジリエンスやアンガーマネジメントの対象にさせていただくこともあります。

設問 9 について

療育相談(共に考えさせていただく面談)は、随時受け付けて頂いております。お子様の年齢に伴い、お父様、お母様のお考えも変わっていくことと思います。「学校で集中が続かない、リブではどのように対応していますか?」「自分で助けを求められるようにするにはどうしたら良いですか?」「文字を読む力はど

のようにつけられますか？」等、どんなことでも一緒に考えさせていただいたり、私たちが行っていることをお伝えさせていただきます。

小学校、中学校の進路相談も行っております。「普通級と支援級はどう違うの？」

「特別支援学校と地域の学校の違いは？」「中学の支援級はどう？」「高校はどう選ぶ？」

「受験対策ってどうやればいいのか？」進路は多岐に渡るなので、相談があるときにはその都度お気軽にお問い合わせください(^_-)☆

設問 14 について

職員は振り返りのために、年一で誓約書を交わしていただいております。

設問 16 について

非常災害時の訓練は、地震、津波、火災、防犯を年に1回ずつ行っております。訓練時期は定まっておりませんので、定期的にお便りにて訓練時の様子とともにお知らせさせていただきます。